



VI 令和6年度

校訓

仲よく 正しく つよく

美瑛町立美馬牛小学校 グランドデザイン

【学校教育目標】

ともに願い、高め、そして未来へ

育成を目指す資質・能力

「何ができるようになるか」を明示

- ねらいに向かって協働して粘り強く努力する力（学びに向かう力・人間性等）
- 相手を尊重し自分の思いや考えを広く伝える力（思考力・判断力・表現力等）
- 生活の中で、自分の学びを活かす力（生きて働く知識・技能）

今年度の重点目標

- 自ら課題を見つけ、協働して粘り強く自己を高める子どもの育成
- ※協働とは？→他者と協力して、自分ひとりでは気付けなかった価値観に気付く
- ※自己を高めるとは？→思いやりの気持ちもてる、表現力を身に付ける

「何が身に付いたか」の振り返り

○学習評価を通じた学習指導の改善

- 教育課程、学習指導等の評価と改善
- 単元・1単位時間の見通しを児童と共有しながらの授業の充実
- 諸調査・検査に基づく即座の授業改善

子どもの発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする子どもへの指導

〈児童の実態〉（児童自己評価）4点満点

- ・学校で楽しくすごしている 3.8
- ・授業がわかる 3.6
- ・先生は丁寧に教えてくれる 3.7
- ・元氣なあいさつができる 3.6  
（※保護者 3.3、教員 3.1）
- ・運動に親しんでいる 3.2

「美馬牛」が目指す子どもの姿

「生きる力を身に付け、他者ととも未来へ歩む」

9年間で身に付けさせたい生きる力

- ・自ら進んで様々な課題に取り組み、解決できる力
- ・他者と協働し、思いやる心や感動する心など豊かな人間性
- ・行動し、粘り強く最後までやりとげる強い心と体

何を学ぶか ○教育課程の編成

- ・各教科等を学ぶ意義を教師と児童が共有
- ・算数科を軸にした校内研究の充実
- ・学んだことを広く発信し交流する力
- ・学級集団と縦割り集団の意図的活動

どのように学ぶか ○教育課程の実施

- ・基礎・基本の確実な定着
- ・主体的・対話的で深い学びの充実
- ・一人一台端末を効果的に使った個別最適な学びと協働的な学習
- ・他者と関わり、自分一人では気付けなかった価値観の発見

実施するために何が必要か

○実行力ある職員集団 ○指導体制の充実（小中一貫） ○家庭・地域との連携・協働

- 小中一貫をベースとした指導体制
- 家庭・地域・関係機関との連携
- 全ての職員の力を合わせた校務運営
- すべての児童に対する配慮の充実
- 感染症流行防止への対応

- PTA や地域の外郭団体との連携
- OCS との連携・協働での業務の効率化
- 家庭・地域・第三者からの評価による教育活動の点検と改善
- 学習相談・教育相談の充実